

こんな状況でも、あなたは 労使協調組合に期待しますか？

貨物会社は夏季手当について、まだ回答が出来ない状況（6/24現在）にあります。本来であれば6月14日に回答を行う予定であった筈ですが、責任組合との調整が付かないためか、回答日の日程すらはっきりしません。前号でもお知らせしましたが、貨物会社が考えている回答は私たち貨物社員の想像を遥かに超える低額回答と予想されます。「どうせ1.25ヶ月だろ」とか思っている方は考え方が間違っているかもしれませんよ！



貨物労組は労使協調組合として経営計画時に与えられた年間2.5ヶ月を最低基準と考えているのですが、経営計画の時点では賃金抑制を行った上での話であり、賃金抑制の話が止まっている現在は「賃金抑制分を手当での削減」と考える状況にあると思われます。我々社員が思いもつかない数値を、会社は用意していると考えた方が自然だと思われます。

最終的には労使協調組合は会社の言うことを聞くんでしょうね？

では、何故こんな状況になっているのでしょうか？

全ては今回の事業計画で、鉄道部門の赤字幅の圧縮のために人件費を大幅に削減したことにあります。これは社長発言にも見られるように本業が赤字では仕様がなから賃金抑制を行うということです。しかし、これっておかしいと思いませんか？

会社という組織である以上、赤字は避けたいと思うことは間違いありませんが、関連事業で補填出来れば問題ない筈です。会社は関連事業収入が期待出来なくなっているということで危機感を煽っていますが、だとするならばそれをどう伸ばすか、又は他の収入を求め企画するのが経営陣の役目であり、安易に人件費削減により乗り切ろうとすること自体に無理があります。



**超低額回答が出た場合、我々社員はどう思いますか？
それこそ仕事を行う意欲すら失われかねません！**

今年は工事費が多い？

確実な情報とは言えませんが、何やら今年は工事費が多いと聞きます。保全の方々の話では工事費が下りてきている以上、工事を行わないとならない。今までは必要な工事も最低限に抑えてきたのに何か理解しがたい。「無駄使いなら人件費に回してもらいたい」との声も出ています。

何か労働者の賃金をかすめ取って設備の補強をしていると思いませんか？

この投光器学習版は国労東海本部のホームページにも掲載されています。

国労東海本部のURLは <http://www.kokurotokai.com> です！